

佛教大学広報誌

B-ism

B 佛教大学

ありがとうが、あふれる世界を。



NO.31

B-ism
No.31

発行日
2026年(令和8年)7月15日

発行者
佐藤 和順

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学 入学・広報課
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 佛教大学 二条キャンパス

人の心に寄り添える看護をめざして
—— 佛教大学看護学部が掲げる「共生（ともいき）」の理念

看護学部長・
看護学部看護学科教授

看護学科長・
看護学部看護学科教授

教育開発推進センター長・
看護学部看護学科教授

數下八重 中島小乃美 濱吉美穂

2026年度、佛教大学の看護学科は「看護学部」へ移行した。新たにスタートしたカリキュラムの柱となるのが、仏教精神に基づく「共生（ともいき）」の理念だ。「共生（ともいき）」とは、どのような看護を意味するのか？ どんな看護師・保健師を育てたいのか？

学部長の敷下八重教授、学部長の中島小乃美教授、教育開発推進センター長の濱吉美穂教授に、教育への思いや学生への願いを語っていただいた。

中島 小乃美(なかしま このみ)
岐阜県生まれ。看護師として病院勤務の後、
看護学院大仏看護科仏教科学科卒業。大谷大学
大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程満
期退学。博士(文学)。奈良県立医科大学医学部
看護学科成人看護学急性期講師、明治国際医療
大学看護学部看護科学基礎看護学准教授を
経て、2012年から佛教大学保健医療技術学部
看護学科准教授、2020年教授。2026年から
現職。専門分野は基礎看護学。

數下八重(やぶした やえ)
和歌山県生まれ、大阪府立看護大学大学院修士課程修了。兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程満期退学。修士(看護学)。京都市立病院、和歌山県立医科大学附属病院勤務を経て、近大姫路大学看護学部看護学科講師、大阪府立大学大学院看護学研究科准教授。2018年から佛教大学保健医療技術学部看護学科教授。2026年から現職。専門分野は慢性看護学。

濱吉 美穂(はまよし みほ)
奈良県生まれ。大阪市立大学大学院看護学研究科後期博士課程修了。博士(看護学)。大阪市立大学医学部附属病院の病棟看護師、松下電工エレクトリケアマネジメントセンター神戸でのケアマネジメント業務を経て、兵庫県立大学看護学部助教。2013年から佛教大学保健医療技術学部助教。2017年から准教授。2026年から現職。専門分野は高齢者看護学。

「共生（ともいき）」を、看護教育の真ん中に

——学部化に伴い、「共生（ともいき）」という言葉がよく目につきます。

につけて卒業してほしいのか」「将来どのような看護職になってほしいのか」を話し合うなかで、やはり根底にあるのは「共生（ともいき）」の理念だと再確認

——学部化に伴い、「共生（ともいき）」という言葉をよく目にします。

しました。

学部化は「佛教大学が大切にしている看護とは何か」を改めて見つめ直す機会でした。教員全員で「学生が何を学び、どのような力を身

濱吉美穂教授（以下、濱吉）
そうなんです。「共生（ともいき）」という言葉自体は以前から使っていました
が、今回の学部化をきっかけ

けに、知識や技術だけでなく、「人に寄り添える看護師・保健師を育てる」という思いを、より明確に打ち出しました。

中島小乃美教授(以下、中島)
 そもそも「共生」ともい
 き」という言葉には、い
 のちのつながりへの感謝
 や、人と人が支え合って

看るのではなく、その人を
 生活背景や価値観、人や環
 境とのつながりのなかで理
 解し、ケアすることを意味
 します。エンド・オブ・ラ
 イフケアも、その人らしく
 最期まで生きられるよう支
 えるケアであり、どちらも
 「人を大切にする」ことに
 つながっています。

生きる社会を目指す意味が込められています。そのバックグラウンドには、法然上人が大切にされた「衆生救済」の思想や、「エンドオブ・ライフケア」に先駆けて「臨終行儀」の伝統があります。

濱吉 ももちろん、授業だけでは学べないこともたくさんあります。学生には学外活動を通して、多様な価値観に触れ、「共生（ともいき）」を体感してほしいと願っています。先日、地域で暮らす認知症当事者の方々の「や

濱吉 今回の学部化は「学びを進化させ深化させる」プロセスです。これまで選択科目だった「ホリスティックケア」や「エンド・オブ・ライフケア」を必修化し、仏教と看護をより深く結びつけたカリキュラムへと意識しました。

りたい」をかなえる活動で、学生と当事者さんとその家族総勢50名で、大文字山登山を実現させました。学生たちはそっとサポートする意識を持ちつつも、当事者さんたちとの関わりの中で多くのことを学んでいたと感じています。こうした機

中島 ホリスティックケア
は、ただ病気や患部だけを

会を、これからも増やしていきたいですね。



つコメントを書いて返しています。書いて終わりではなく、学生と対話を重ねること、感受性や観察力、思考力を育てていきたいと思っています。

中島 私もコメントには本当に時間をかけています。このコメントが気づききっかけとなり、自分自身と向き合って、自分で改善する力をつけてほしいですから。

藪下 現代の看護には「レジリエンス（精神的回復力）」も必要です。どんな

な経験を通して初めて自身身の思考に気づくんですよ。患者さんや実習施設の皆さんに育ててもらっているのだと思います。

「気づき」を育てる教育

——学生の「気づき」は、どのように支えているのでしょうか。

中島 看護師・保健師には「気づく力」がとても大切です。でも、「どう評価されるか」「失敗したくない」という思いが強すぎると、患者さんの本当の願いや苦しみが見えなくなってしまう。だからこそ、自分中心の考え方を少しずつ手放していくプロセスが必要になります。「自分中心だと、患者さんが見えないよ」。これは教員全員が繰り返し伝えている言葉です。時には悔しくて涙を流す学生もいます。そんな時こそ、教員自身も「共生（ともいき）」の姿勢で寄り添い、視野を

に優秀な学生でも、現場で壁にぶつかることがあります。だからこそ、教員が守りすぎるのではなく、自分で考え、困難な状況に陥っても自分らしくしなやかに立ち直れる力を育むことも大切です。ただ、自信過剰も困りますし、これは難しい課題ですね。

看護だからこそ、触れられるもの

——先生方が感じる「看護の醍醐味」とは。

濱吉 頭だけでなく、身体を使い、心を寄せることで、患者さんが回復していく場面に立ち会えることですね。マッサージをする、そっと背中をさする、そして一緒に泣く……。そうした関わりの中、人が少しずつ元気を取り戻していく。その瞬間を目の当たりにできることは幸せであり、この上ない喜びを感じる時です。

中島 私もそう思います。この世にあるたくさんの仕

事の中、他人の身体に触れられる事は看護以外にはそう多くはありません。触れてともにひと時を過ごすことで、患者さんが思いを打ち明けてくださることもあります。その人の人生の瞬間に深く関わるところに看護の価値があると思います。

藪下 そうですね。私は脳神経外科病棟で看護師をスタートしました。意識のない患者さんも多く、いのちのすばらしさに気づかせられ、患者さんや家族へのケアにやりがいを感じてきました。看護はA-にはできない仕事です。人間として一人ひとりの患者さんと関わることで、自分自身も成長していく——そこに看護の奥深さがあります。

卒業後も続く、「共生（ともいき）」のつながり

——最後に、看護学部同窓会ができたそうですね。

濱吉 看護学科14期まで



実習で学ぶ、「ともに考える看護」

——実習をとても大切にされているカリキュラムですね。

中島 本学では1年生から実習が始まります。入学直後は地域の高齢者と交流する「コミュニティ実習」があり、その後、病院での臨床実習へ進みます。高齢者といってもお元気な方も病気を抱えた方もおられます。さまざまな高齢者と接しながら、なぜ同じ年代で

もこんなに違うのだろうと考えることが、まずは学びの第一歩になります。

濱吉 実習では時に「もう来なくていい」とか「それは私のことを考えたケアじゃない」など、学生にとってはショックを受けるような厳しい言葉を患者さんから投げかけられることもあります。でも、それこそが「してあげる看護」ではなく、「患者さんとともに考える看護」を学ぶいい機会だと思います。

藪下 学生は、そうした貴重な

な経験を通して初めて自身身の思考に気づくんですよ。患者さんや実習施設の皆さんに育ててもらっているのだと思います。

「気づき」を育てる教育

——学生の「気づき」は、どのように支えているのでしょうか。

中島 看護師・保健師には「気づく力」がとても大切です。でも、「どう評価されるか」「失敗したくない」という思いが強すぎると、患者さんの本当の願いや苦しみが見えなくなってしまう。だからこそ、自分中心の考え方を少しずつ手放していくプロセスが必要になります。「自分中心だと、患者さんが見えないよ」。これは教員全員が繰り返し伝えている言葉です。時には悔しくて涙を流す学生もいます。そんな時こそ、教員自身も「共生（ともいき）」の姿勢で寄り添い、視野を

に優秀な学生でも、現場で壁にぶつかることがあります。だからこそ、教員が守りすぎるのではなく、自分で考え、困難な状況に陥っても自分らしくしなやかに立ち直れる力を育むことも大切です。ただ、自信過剰も困りますし、これは難しい課題ですね。

看護だからこそ、触れられるもの

——先生方が感じる「看護の醍醐味」とは。

濱吉 頭だけでなく、身体を使い、心を寄せることで、患者さんが回復していく場面に立ち会えることですね。マッサージをする、そっと背中をさする、そして一緒に泣く……。そうした関わりの中、人が少しずつ元気を取り戻していく。その瞬間を目の当たりにできることは幸せであり、この上ない喜びを感じる時です。

中島 私もそう思います。この世にあるたくさんの仕



今日の授業

ヨガ・マインドフルネス体験

谷本先生の専門は、犯罪心理学とヨガ・マインドフルネス。ヨガとマインドフルネスを活かして再犯を防ぎ、更生が軌道に乗るように支援する取り組みを行っている。

「マインドフルネスの考え方は、過去の後悔や未来の不安に囚われて悩む気持ちから一旦距離をおき、ありのままの今の自分を受け入れるというもの。静かに座り、今この瞬間、思考や感情などの内的体験から離れる。これは、ネガティブな感覚に呑み込まれないための一つの技術といえると思います」

一方、ヨガは日常ではあまりなじみのない動きをします。「集中せざるを得ないので、諸々の感情に流されることなく、今、ここにいる自分に注意を向けやすくなる。これがヨガの効果です」

ヨガやマインドフルネスは、心と体の幸福な感覚が増すなど、さまざまな形で人々の心身にポジティブな効果を及ぼすことが立証されている。矯正施設に勤務する法務技官だった前職の経験から、ゼミでは再犯防止に関わる臨床現場を知ること重視しているため、学生はさまざまな施設を訪問する。実務家を招いて講義をしてもらうこともある。刑務所で受刑者々と対話するツアーにも参加する予定だ。



心と体を整えることは、犯罪者だけでなく、一般社会人のストレス緩和にもつながると考え、ヨガ・マインドフルネスの普及に努める谷本先生。特に学生には、若いうちにこれらに出会ってほしいという。「情報の氾濫にさらされやすい現代青年は、ネガティブな情報に翻弄されるリスクを抱えている。だから、偏った情報やバイアスなどの影響を受けないためにも、自分自身が直面する情報について一旦距離を置いて眺め、落ち着いて対応するための方法が必要だと思います。その点において、マインドフルネスは大いに活用することができますし、心を安らかにして自分を静かに眺める機会を確保することもできます」。学生を思う温かい心情が伝わってきた。

B-ism

2026
July

に声を掛けていた。
仕上げはしゃがみこみ、床に両手をつけるポーズから肘をついての倒立。さらに、体を柔らかく使うポーズをいくつか取ったあと、最初の仰向けのポーズに戻る。先生は「ヨガを始めた時と比べ、体の感覚に違いがありますか」と尋ね、「なければ、なくてもいいです」。ポーズを完成させることがヨガの目的ではないし、効果を感じなければならぬというわけでもない。最後のポーズは仰向けになって、ただ脱力する「シャバーサナ」だった。



授業の後半はマインドフルネスの実践となった。先生の柔らかな声があたりに染みていく。「自分の人生をこうしたい、こうあってほしいというイメージを持って瞑想し、その思いを簡単な言葉で表現する。例

えば『私は誠実でありたい』などです。何度も心の中で繰り返して」。しばし時間が過ぎた後、両手を合わせ、心の中の自分自身にお辞儀する。授業が終わっても、学生たちからはしばらく声が出ない。もう少し、豊かな時間を満喫していいたいようだ。そんな彼らに「お疲れさま。みんないい顔をしていますよ」と先生は優しく声をかけた。

授業の後、ゼミに参加した田村太一さん（4年）に話を聞いた。ヨガ・マインドフルネス体験については、「体は疲れるが、頭がスッキリする。将来への不安などを一度横に置いて、今ここに集中する感覚が心地よいですね」。第一志望は、先生の前職と同じく犯罪者の改善更生に向けた支援を行う専門職とのこと。そこで、犯罪心理学を研究する谷本ゼミを選んだ。「人と向き合う仕事なので、援助対象者への共感を持つためにも、心がしっかりしていることが大切だと思います」

谷本先生については、「穏やかで真面目な人。犯罪・非行の心理など、自身の専門領域について詳しく話してくれるし、日常生活についてもフランクに相談できます」と語った。学生たちが先生を信頼し、安心してありのままの自分に向き合うことができる時間と場が、ここにはあった。



今ここにいる自分を静かに見つめる ココロとカラダを開放する実践授業

教育学部 臨床心理学科 准教授

谷本 拓郎

谷本 拓郎(たにもと たくろう) 1983年滋賀県生まれ。神戸大学人間発達環境学研究科修士課程修了。法務省専門職員(法務技官)を経て、2021年から京都光華女子大学(現:京都光華大学)健康科学部心理学科講師。2025年から佛教大学教育学部准教授。専門分野は犯罪心理学、マインドフルネス、トラウマケア。主な著書に『新・心理学を今に活かす』(教育情報出版、2024年)、『福祉のまなざしから心理支援を考える 福祉心理学』(教育情報出版、2026年)など。2026年3月、日本マインドフルネス学会第12回大会で演題「再犯防止に向けたマインドフルネス介入プログラムの検討-対面・オンデマンドによるハイブリッド型実践指導から-」が最優秀研究賞を受賞。

研究室でのデイスカッションや臨床現場の見学ツアーを通じて教科書だけではわからないリアルな犯罪心理学を研究する谷本拓郎先生のゼミ。そんな谷本ゼミには、授業時にヨガやマインドフルネス瞑想を行い、自分自身の心の理解を目指すという側面もある。

.....

この日の授業でも、集まった学生たちは広々とした畳の部屋で、まずは瞑想の姿勢を整えた。「あぐらなど、落ち着く姿勢で座りましょう。手は膝に置いて、アゴをひいて首の後ろ側をまっすぐに伸ばして、背筋を伸ばします。不安でなければ目を閉じてみましょう」などと、先生は適切な姿勢について丁寧に説明していく。静かに、語りかけるように話しかける。

呼吸を合わせる。「鼻から吸って、鼻から吐いて」と、実にゆっくりとした口調だ。しばらく呼吸が続いた後、普段の呼吸に戻る。そ

の場はさらに静かで、緊張もなく、豊かな安らぎに満たされる。今度は、先生がティンシャ(チベットベル)を鳴らす。清らかな音色に誘われ、学生たちはゆっくりと目を開け、膝を立てて仰向けになる。先生も「仰向けになると、自分のコンディショニングがわかりやすくなります」と、横になった。続けて「今の自分の気になるところを意識してもいいし、特に意識するところがなければただ仰向けになっているだけでいいですよ」。何も強制はしない。ここからはヨガのポーズが続く。四つん這いになって背中を丸めたり、反らせたります「キャット・アンド・



カウ」。四肢を床につけて身体を三角の形になるよう上体を後ろへ伸ばす「ダウンドッグ」と、代表的なヨガのポーズを実践していく。先生は同じポーズを前の方で示し、時折、立ち上がったみんなの様子を見たり、アドバイスを伝えたりする。

中には少し負荷のかかるポーズもあるが、先生は決して全員に同じことは求めない。「できる人はこまめ、もっとできる人はこまめ」と、さまざまな強度を紹介する。「続けて太陽礼拝に入ります」。前屈からうつ伏せになって、「プランク(腕立て伏せ上のポーズ)↓ペイビーコブラ(うつ伏せで上体だけ起こす)↓ダウンドッグ↓前屈の流れで、呼吸を合わせてダイナミックに動く。その流れをゆっくり何度も繰り返す。腕や足を大きく使ったポーズが続く。先生は学生の動きを見ながら「ナイス」「そうそう」と、静か





塚本 章宏(つかもと あきひろ)

1978年奈良県生まれ。立命館大学文学部地理学科地理学専攻卒業、立命館大学大学院文学研究科博士前期課程、後期課程修了。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員(DC2)、日本学術振興会特別研究員(PD)、立命館大学衣笠総合研究機構ポスドクトラルフェロー(専門研究員)を経て、徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部空間情報論研究室准教授。2016年、徳島大学大学院総合科学研究部准教授、2017年、社会産業理工学研究部准教授。2024年から佛教大学歴史学部歴史文化学科教授。著書に「伊能忠敬の地図作製—伊能図・シーボルト日本図を検証する(平井松午編)」(分担執筆、古今書院、2022年)、『歴史地理学事典』歴史地理学会編(編集委員・分担執筆、丸善出版、2025年)など。

1978年奈良県生まれ。立命館大学文学部地理学科地理学専攻卒業、立命館大学大学院文学研究科博士前期課程、後期課程修了。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員(DC2)、日本学術振興会特別研究員(PD)、立命館大学衣笠総合研究機構ポスドクトラルフェロー(専門研究員)を経て、徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部空間情報論研究室准教授。2016年、徳島大学大学院総合科学研究部准教授、2017年、社会産業理工学研究部准教授。2024年から佛教大学歴史学部歴史文化学科教授。著書に「伊能忠敬の地図作製—伊能図・シーボルト日本図を検証する(平井松午編)」(分担執筆、古今書院、2022年)、『歴史地理学事典』歴史地理学会編(編集委員・分担執筆、丸善出版、2025年)など。

現在取り組む伊能図についても目標にしていることがある。「全国には副本や稿本など数々の『伊能図』が残されていますが、実は幕府におさめた最終版でもある『大日本沿海輿地全図』は皇居の火事で焼失してしまっています。ですから現存している他の伊能図から読み解ける情報や作図の技術を分析して、今は幻となった最終版の伊能図の私たちを明らかにしたいと思っています」。さらに今は佛教大学の図書館に所蔵されている貴重な古地図コレクションの研究にも着手してみたいと考えています。

B-ism

2026
July

というGIS。欧米では1970年代後半から徐々に発展していくものの、日本での周知が一気に高まったのは阪神・淡路大震災の時だそう。山のように積み重なる書類で集められる被害状況をデータ化し、GISで地図上に可視化したことによって復興支援の際に大いに役立った。「情報を集約して地図上にデータ化することで、分析にかかる時間が飛躍的に短縮され、求められる次の行動がスムーズに決定できる。意思決定を助ける非常に重要かつ便利なツールだと思います」

この流れからその必要性は高まり、高校では「地理総合」が2022年に新設された必修科目となった。高校の地理や社会の教職に就くには、GISを使いこなすGIS教材の活用が不可欠になっていくと塚本先生は考えている。歴史学部ではその知識を習得するカリキュラムも準備、また日本地理学会が認定する「GIS学術士」の資格を取得できる新しいカリキュラム作成にも携わった。

しかし、世の中のGISに対する認知や理解はいまだ深まっていないとも実感しており、デジタルに苦手意識のある層のためにも、『GISカード』を作成した。これはソフトウェアを使用することなく、GISについて学ぶことができるカードゲームだ。



歴史はオリジナルの視点と方法で紐解いていくのがおもしろい

伊能図をGISで読み解く歴史×最新技術の面白さ

私たちが日常の中で知らず知らずのうちに利用しているのがGISと呼ばれる地理情報を分析したり可視化したりできるシステムだ。身近な場面ではグーグルマップで最適ルートを検索したり、観光地などの混雑具合を地図上で確認するのもこの技術が使われている。また、水道管やガス管といったライフラインのデータベース管理や被災地

の被害状況の把握など行政の現場にも大いに活用されており、いまや我々の暮らしになくてはならないものとなった。塚本先生は、このGISを活用して歴史の研究に取り組んでいる。現在は、江戸時代に伊能忠敬が科学的な測量をもとに初めて作った日本地図といわれている「伊能図」に注目。前に勤務していた徳島大学が所蔵する国の重要文化財「伊能図」10枚を、高精度でデジタルアーカイ

ブ化したのをきっかけに、コンピュータを活用した研究を進めているのだ。「伊能忠敬の作図の技法は、紙に測量したポイントを針で穴をあけ、その穴を繋いで測線を描画していく「針突法」という地道な作業で描き起こしていくものです。この膨大な穴数や密度などを正確に計測するのも人力では到底無理なのでGISを活用しています」。赤穂から知多半島までの近畿エリアだけでも針穴の数は測

線上に1万点以上ある。17年にも及ぶといわれる伊能の測量期間も前期と後期では針穴の数や密度が大きく異なるというのが面白い。「前期に測量した東日本は針穴が1センチの中に2〜3点。しかし後期の西日本では5〜6点になり作図技術もあがっている。これは前期(第1〜4次測量)に伊能が自費で作成した東日本エリアの地図を見た幕府から後期(第5〜10次測量)用の資金を調達するに至っ

たことや、何度も作業を重ねることで測量隊の技術が向上したことなど、数々の事象や考察を裏付けることができます」

通常、GISの技術は空中写真や衛星画像をコンピュータに取り込んで、地表・地形、気象や植生の分析などに幅広く使われているが、塚本先生はその技術をこのように歴史資料の分析にも活用している。通常とは異なる取り組み方であるぶん、こだわりもある。「自分がやっていることは境界領域の研究です。地理情報科学や地図学、歴史地理学など…異なる分野にまたがるため、GISの技術、歴史的資料の解釈ともに浅い知識でなく、きちんとした理解が必要です。そして、双方の分野に意義がある研究にしたいと考えています」

今後は需要がより高まるGISを理解し身近なものへ

塚本先生が文学部地理学科に在籍していた大学時代に、膨大なデータが分析できるコンピュータマップピングの面白さに魅力を感じた

B-L.L.研究報告

「従来のアプローチとは異なる新しい技術で挑む」最新の地理情報システムを活用して歴史を紐解いてゆく

歴史学部 歴史文化学科 教授

塚本 章宏



江戸時代に伊能忠敬が約20年近くをかけて測量・作製した日本地図「伊能図」。現代の地理情報システム(GIS: Geographic Information System)を用いて、この歴史的地図の研究を進めているのが塚本章宏先生だ。今後いっそう需要の高まりが確信されるGISについても、理解と普及につとめる日々。歴史とデジタル技術という異なる分野を跨ぐ研究には、双方に関する確かな理解と分析という裏付けがあつてこそ成立する、と多岐の分野にわたる研究にも余念がない。

通常、GISの技術は空中写真や衛星画像をコンピュータに取り込んで、地表・地形、気象や植生の分析などに幅広く使われているが、塚本先生はその技術をこのように歴史資料の分析にも活用している。通常とは異なる取り組み方であるぶん、こだわりもある。「自分がやっていることは境界領域の研究です。地理情報科学や地図学、歴史地理学など…異なる分野にまたがるため、GISの技術、歴史的資料の解釈ともに浅い知識でなく、きちんとした理解が必要です。そして、双方の分野に意義がある研究にしたいと考えています」

今後は需要がより高まるGISを理解し身近なものへ

塚本先生が文学部地理学科に在籍していた大学時代に、膨大なデータが分析できるコンピュータマップピングの面白さに魅力を感じた

中学生的頃に日本史が好きになり、「平安時代の宗教と政（まつりごと）」の関わりを学びたくて「歴史学部に進学。同時に、教職課程、学園祭実行委員、アルバイト」と、知的好奇心が旺盛な上山さんの大学生活は1年生の時からフルスロットルだった。教職課程の授業で、日本語学習を取り入れた海外の学校教育を紹介するビデオを見て、「面白そう」と直感。「多文化共生の時代、一度は海外で生活してみたい。いろんなバックグラウンドを持つ人と交流してみたい」と思っていた絶好のタイミングで、友人から日本語パートナーズの存在を教わったそう。アジア各国の中で



基金が募集・派遣している日本語教師や生徒のパートナーとして、日本の中学校・高校などの日本語教師や生徒のパートナーとして、日本語授業のサポートや日本文化の紹介を行うことである。

1年間休学し、インドネシアでの挑戦を決意
インドネシアの伝統衣装、バティックのワンピース姿で撮影に臨んだ上山朱里さん。「帰国して初めて袖を通しました。久しぶりでうれしい」と人懐っこい笑顔をカメラに向けてくれる。



歴史学部 歴史学科 4年生
上山 朱里さん

多文化共生時代を視野に入れた 日本語パートナーズの貴重な体験



上山さんは、昨年9月末から今年3月末までの半年間、部にあるバンドン市に滞在していた。独立行政法人国際交流基金が募集・派遣している日本語教師や生徒のパートナーとして、日本の中学校・高校などの日本語教師や生徒のパートナーとして、日本語授業のサポートや日本文化の紹介を行うことである。

休日には、カフェ巡り、世界遺産やバリ島観光も。充実した日々で特に感銘を受けたのは、学校でも街中でも、異宗教同士がお互いを尊重し合っていること。「たとえば授業中、イスラム教の生徒が『お祈りに行ってきます』と教室を出るのも、ほかの子たちが『いってらっしゃーい』と送り出すのもごく自然で」。日本文化を伝える側として共に学ぶうちに、その素晴らしさをあらためて実感できたのも大きな財産だ。

いま上山さんは、「もっと世界のことを知りたい」欲が高まり、国内メーカーの現地法人などを情報収集中。「日本語パートナーズの経験がなければ、海外で働くという発想は生まれませんでした」。撮影用に着替えたお気に入りのワンピースを、「せっかくなのでこのまま着て帰ります」と、また破顔一笑。どんな国、どんな環境でも、するりと懐に入れそうな明るく、きらめくエネルギーに満ちている。

B-ism

2026
July

囲碁と『日本の歴史』に夢中になった少年は
2025年9月、牧野匠さんは「第12回全日本学生囲碁最強位戦」の昇位戦で優勝。これから高段位を目指す3段から5段の有段者クラスの昇位戦で、その上が最強位のタイトルをかけた高段者向けの最強位戦になる。初の昇位戦優勝を手にした牧野さんは、現在6段レベル。「あくまでも学生の6段なので、自称というか…」とはにかみ笑いを浮かべる。

牧野さんが囲碁に出合ったのは4歳のとき。地元の幼稚園が、保育の中で囲碁のキリキリウムを取り入れていたのだ。幼心に囲碁の虜になり、土曜日の囲碁道場、レベルの高い囲碁教室へと「囲碁好きの定番コース」を歩んできた。小学生になると、漫画の『日本の歴史』シリーズにも夢中になり、日本史を学ぶため佛教大学へ。歴史に強い大学が多い関西の中でも、日本唯一の歴史学部の魅力を感じたという。残念ながら佛教大学には囲碁部もサークルもなく、新しい仲間や練習拠点をつくりたくて京都大学の囲碁研究会に入会。週2回程度は通い、腕を磨いている。

囲碁一辺倒と思いきや、イベントスタッフのアルバイトに精を出す一面も。テレビ番組でテーマパーク閉園後に園内の補修などの仕事に携



わる人たちを見て、華やかな商業施設の裏方の仕事に興味を覚えたとか。設営・受付など、現場やシーンごとに即応力や集中力を求められる業務は、囲碁の対局に通じるところがあるそうだ。「四六時中、囲碁のことを考えているわけではありませんが…」と笑う。



歴史学部 歴史学科 3年生
牧野 匠さん

自由に、個性を表現。 盤上で繰り広げる「読み」の極意！

「読み」を武器に、研究テーマは戦と囲碁
幼稚園で、勝ち負けがつくゲーム性で、勝ちに対する喜びが印象深く刻まれて以来、途切れることのない囲碁愛。いちばん好きなところは「自由に表現でき、個性を出せること」にあるという。よく比較される将棋との明確な違いは、将棋9×9マス上に初期配置の駒が決められているのに対し、囲碁の19路盤は対局開始時の盤上に石がない空の状態から始められる。

そして、対局時に最も大事にしている「読み」。相手の予想を超えた手で陣地に攻め込んだとき、心理戦の攻防で優位に立たたとき、言い知れないうれしさが込み上げる。取るか取られるか、リードを奪うためにどう読むか…。話題が具体的な打ち方や極意になると表情も口調も一変、立て板に水のごとく滑らかで饒舌に。知識不足のこちらが理解できるよう、スポーツにたとえたり、「小牧・長久手の戦い」における戦わずして勝つ戦法を例に挙げたり、ジェスチャーを交えながら解説してくれる。

今春から、自立の第一歩として一人暮らしをスタート。京都市の厳格なごみ分別ルールに戸惑いながらも、掃除や洗濯、簡単な調理など、「それなりに生活を回している」と自信を持った。ゼミ専攻は中世で、囲碁をかねた研究テーマを構想しているという。戦国武将が愛好し、単なる娯楽としてではなく戦略や戦術の鍛錬にも活用。名将を支える軍師にエンパシーを感じる牧野さんにとって、『戦と囲碁』をテーマにしない手はないだろう。これからもほどよい距離感で囲碁に関わり続ける。もちろん、今夏開催される「最強位戦」に挑むつもりだ。





柏 まり(かしわ まり)
岡山県立大学大学院保健福祉学研究科博士後期課程修了。幼稚園及び保育所での経験を経て、湊川短期大学幼児教育保育学科准教授、就実大学教育学部准教授、岡山県立大学保健福祉学部教授を経て、2021年から佛教大学教育学部教授。幼稚園・保育所・認定こども園におけるフィールドワークを中心に、幼児期における人間関係の研究、幼児期の規範意識、幼稚園教育課程及び保育計画の編成、保育内容の充実及び保育者の専門性・資質の向上に関する実践学的アプローチ、男女共同参画社会実現のための子育て支援に関するプロジェクトについて研究している。

先生のお気に入り 「赤ちゃんおもちゃの世界」

第二十九回
教育学部 幼児教育学科 教授
柏 まり 先生の巻



作る人の工夫や愛情が注がれた 愛すべきおもちゃたち

赤ちゃんおもちゃの収集は、研究資料集めという意味がありますが、私自身の楽しみでもあります。海外に行く機会があると、必ず現地でおもちゃや絵本の出合いを楽しみながら集めています。さまざまな国のおもちゃを比べてみると、文化の違いがみえてきて、興味深いものです。

乳児保育の授業では、学生とともに手作りおもちゃについて学び、実際に製作したものを教材として活用しています。靴下を利用して作ったパペットや、くるくると芯に巻きつけて遊ぶ長い布おもちゃなど。実習に持って行った学生から「引っぱられてちぎれてしまいましたー!」ばかりと口にくわえて、離さなかったんです!」といった微笑ましい話も聞けます。私が愚子のために18年前に手作りした布おもちゃも



思い出の詰まった宝物として大事にしています(笑)。

おもちゃ集めを続けていると、乳幼児のおもちゃにも素材や色の流行があることを感じます。例えば素材。プラスチックに代わって、今は自然素材が増えていく。アレルギーに配慮した粘土なども考案されています。乳幼児の感覚に関する研究も進みました。かつては「淡い色合いがいいだろう」と思われていた色彩は、最近の研究では「はっきりした色や輪郭の方が認識しやすい」と考えられています。おもちゃや絵本にも原色を基調とした、コントラストの強いデザインが増えて

います。

おもちゃはそれ自体では、ただのモノです。しかし、三角の積み木が遊びの中ではおにぎりになるように、人との関わりによって新たな意味を持ち始める。人がモノと対話し、さらにモノを通じて人と人がつながっていく。とっても素敵なことです。

Hello!!

クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、
佛教大学のクラブ、サークルといった課外活動団体やさまざまな学生団体の
彼は(あれこれ)を部員が自ら紹介、語ってくれます。

女子弓道部



左から米倉さん、井上さん、野村さん、表さん

静寂の中で磨く、心と技 13年ぶりの団体優勝、 リーグ1部昇格をめざす

米倉 彩華さん
社会学部現代社会学科4年生

女子弓道部は礼節を重んじながら、日々、精進を重ねています。現在の部員は初心者・経験者あわせて16人。普段は学年の違いを超え、和気あいあいとしています。練習や試合になるとみんなの表情が引き締まります。合同練習や自主練習に加え、積極的に練習試合も取り入れています。試合を通じ、自らの課題や不足している部分に気づき、次の成長につなげてほしいからです。授業の空き時間に道場へ足を運び、弓を引く部員の姿を見ていると、弓道の真の魅力は自分自身と真剣に向き合えるところにあるんだと感じます。



私は弓道のかっこよさにひかれて大学2年から始めました。高校から弓道続ける部員たちはこんなふうに言っています。「結果がすべて自分に返ってくるからこそ、うまくいったときの達成感はとても大きい」(3年・表小都美さん)。「静寂のなかで、一射ごとに全神経を集中させる。弦音が響く瞬間は、ほかでは味わえない爽快感があります」(3年・井上ななみさん)。「体配(たいはい)の美しさは心の表れ。美しい体配がなければ的中は生まれません。日常生活においても心の在り方を大切にしています」(3年・野村美優さん)。

昨年は関西学生弓道リーグ2部への昇格を果たし、さらに13年ぶりとなる関西学生選手権団体優勝を成し遂げました。この結果は大きな自信になっていて、目標にしている1部昇格をめざす原動力となっています。経験者はもちろん、大学から弓道を始める初心者も大歓迎です。ぜひあなたも弓道の世界へ。

オープンキャンパススタッフ団体「B-UP」



佛教大の「顔」として、 学生目線で魅力を発信!

社会学部現代社会学科4年生
福田 彩夏さん
奥田 葉月さん

2024年に発足したオープンキャンパス(OC)スタッフ団体「B-UP」。「佛教大学と一緒に成長していこう」をスローガンに活動しています。紫野キャンパスと二条キャンパスにそれぞれ組織をつくり、佛教大学の魅力を高校生に伝えたいです。

福田 紫野キャンパスの全体リーダーを務めています。組織を円滑に運営できるように自配りをするのが私の役割。私は中学校の社会科教員をめざし、伝える力を鍛えようと1年生から参加しています。佛教大学の「顔」となりますから、つねに笑顔で接するよう心掛けています。OC当日は、多い日は一日1000人を超える来場者がおられます。高校生が安心して進路選択ができるよう授業やサークル活動、アルバイトとの両立など、



実際の大学生活について丁寧に紹介しています。高校生と年齢の近い学生スタッフだからこそ、気軽に相談しやすい存在になりたいと思っています。

奥田 私は副リーダーです。高校生のとき、佛教大学のOCに3回ほど来ましたが、先輩たちが細かく気を配って誘導してくださったことや、先輩たちと先生の距離が近いこと、キャンパス内に流れる温かい雰囲気のおかげで入学を決めました。私がそうだったように、OCがよかったから入学した」と言ってもらえるのが一番うれしい。学科紹介では幼児教育で大切な「環境構成」の学びをわかりやすく伝えるようにしています。高校生が抱える不安を安心へ変えることができたらいいなと思っています。高校生にはぜひ、キャンパスツアーに参加してほしい。スタッフの個性や熱意がこもっています!

教員をめざす人の学びの道を、もっと広く ～玉川大学と佛教大学が「教職アライアンス協定」を締結～

3

全国的に小学校教員の不足が課題となるいま、通信教育による教員養成に実績を持つ玉川大学（町田市、小原一仁学長）と佛教大学が、新たな一歩を踏み出しました。両大学が連携し、教員をめざす人の学びの機会を広げること、これからの小学校教育を支える人材の育成に取り組めます。

5月13日、玉川大学と佛教大学は「教職アライアンス協定」を締結しました。本協定により、両大学は通信教育課程を活用した、私立大学では初となる「教職アライアンス」を共同で構築します。2027年4月から小学校教諭二種免許状の取得に必要な科目を提供するプログラムを開始する予定です。

近年、小学校における教員不足は全国的な課題となっており、教育現場への影響も広がっています。そうしたなか、時間や場所にとらわれにくい通信教育の強みを生かすことで、より多くの人が教員をめざせる環境づくりを進めていきます。

教職アライアンス「特設サイト」



※詳細は「教職アライアンス」特設サイトをご覧ください。

<https://bukkyo-u.jp/lp/alliance/>

本プログラムでは、加盟を希望する大学の教職課程に、小学校教諭免許状取得の機会を提供します。教員志望者にとっては進路の選択肢が広がり、全国の小学校教育を支える人材の安定的な養成につながることも期待されます。

両大学は今後、教育内容や運営面での情報共有・連携を進めながら、通信教育による教員養成の質をさらに高めていきます。教員を志す人の学びの道を広げ、子どもたちの学びを支える未来へ。玉川大学と佛教大学の連携による新たな挑戦が始まります。



二条キャンパス2号館 新校舎の開扉式を執り行いました

1



3月24日、二条キャンパス2号館の竣工に伴い、開扉式を執り行いました。当日は、本学関係者をはじめ、学校法人佛教教育学園、設計・施工関係者が出席。仏式による法要のもと、読経、焼香、テープカットが行われ、新校舎の完成を祝いました。

二条キャンパス2号館は、JR二条駅西側に位置する二条キャンパスに新たに整備された校舎で、2026年9月より本格稼働を予定しています。今後、社会福祉学部および社会福祉学研究所が紫野キャンパスから移転し、新たな教育・研究拠点として活用していきます。



きます。

二条キャンパスでは、これまで保健医療技術学部が医療・健康分野の学びを展開してきました。そこに、社会福祉学部が培ってきた福祉分野の実績が加わることで、「福祉・医療・健康・地域」をつなぐ新たな学びが広がります。本学では、二条キャンパス2号館を拠点に、教育研究のさらなる充実を図るとともに、地域と連携した取り組みを一層推進してまいります。

紫野キャンパス・二条キャンパスにて「オープンキャンパス」を開催しました

2



6月7日、オープンキャンパスを開催しました。当日は雨天にもかかわらず、高校生や保護者の皆さまを中心に、両キャンパス合わせて1654名の方にご来場いただきました。大学紹介、学科イベント、入試説明、個別相談などを通して、佛教大学での学びや学生生活、キャンパスの雰囲気を感じていただきました。

また、オープンキャンパス学生スタッフ「BUUP」も受付や案内、参加者との交流などで活躍。学生目線で佛教大学の魅力を伝えました。二条キャンパスでは、2026年9月より社会福祉学部の学生が学ぶ2号館の見学ツアーも実施しました。



参加者は施設や学習環境を見学しながら、新たなキャンパスでの学びのイメージを膨らませていました。今後もオープンキャンパスや入試イベントを通して、佛教大学の学びと魅力を発信していきます。

韓国・釜山大学の学生・教員が本学を訪問 日韓の特別支援教育をテーマに交流しました 6



5月28日、韓国・釜山大学特殊教育学科の学生・教員39名が、佛教大学紫野キャンパスを訪問しました。今回の研修は、釜山大学の学生が日本の特別支援教育や障害学生支援について学ぶことを目的に実施されたものです。本学では、教育学科の奥畑志帆准教授ゼミの学生を中心に受け入れを行い、キャンパスツアーや学生支援センターの見学、授業参観などを通して交流を深めました。

また、日本文学科の荻原廣教授が担当する「日本語教育教壇実習」で日本語教育を学ぶ学生たちも参加。教育学科の学生とともに、専門や学科を越えて学び合う時間となりました。



生活や文化、韓国と日本の大学の違いなどについて和やかに語り合いました。最初は少し緊張した様子も見られましたが、食事を囲むうちに自然と会話が広がり、笑顔のあふれる交流となりました。短い時間ではありましたが、参加した学生たちにとって、日韓の教育や支援のあり方を知り、国際的な視点から自分たちの学びを見つめる貴重な機会となりました。

いつでも、誰でも、どこからでも。 学びの場O.L.C.が延べ40万人に 7



佛教大学オープンラーニングセンター（O.L.C.）の講座総お申込み者数が、このたび延べ40万人を突破しました。O.L.C.は、2021年4月に四条センター開設当初の思いを受け継ぎ、新たな学びの場としてスタートしました。年間約600の講座を開講し、対面講座をはじめ、オンライン講座やオンデマンド講座など、多様なスタイルで学びの機会をお届けしています。

多くの皆さまにご受講いただき、こうして大きな節目を迎えられたことを、心より感謝申し上げます。これからも「いつでも、誰でも、どこからでも学べる」場として、皆さまの学びに寄り添う講座をお届けしてまいります。

今後とも佛教大学オープンラーニングセンターをどうぞよろしく願います。

B-ism

2026
July

多様な生き方を認め合う社会へ アーティスト・僧侶の西村宏堂氏が社会福祉学部客員教授に就任 4



このたび、アーティストであり僧侶としても活動されている西村宏堂氏に、本学社会福祉学部の客員教授に就任いただきました。西村氏は、アーティストとして国内外で幅広く活躍され、仏教の教えやご自身の経験をもとに、多様性や自己肯定感の大切さを発信されています。美や表現を通して、「自分らしく生きること」の尊さを伝え続けるその活動は、多くの人に勇気と気づきを与えています。

社会福祉学部では、誰もが尊厳をもって、自分らしく生きるここのでできる社会の実現をめざし、福祉・教育・医療・地域社会など多様な領域から学びを深めています。西村氏の客員教授就任により、学生たちが多様な価値観や生き方にふれ、共生社会のあり方について考える機会をさらに広げてまいります。佛教大学はこれからも、ひとりひとりの存在が大切にされる社会の実現に向けた学びを育んでいきます。

世界をつなぐ、笑顔のひととき ～学長主催留学生交流会を開催しました～ 5



5月29日に留学生の新生を迎え、「学長主催留学生交流会」を開催しました。当日は、日頃から留学生をサポートしている日本人学生チューターをはじめ、知恩寮の関係者、教職員など多くの方々が参加。会場は終始和やかな雰囲気にもまれ、国や立場を越えた交流の輪が広がりました。

学長主催 留学生交流会



参加した留学生の中には、母国の民族衣装を身に着けて参加する学生の姿もあり、会場に華やかな彩りを添えました。歓談の時間には、互いの国や文化、学生生活について語り合う姿が見られ、笑顔あふれるひとときとなりました。

新たな学びの場で一步を踏み出した留学生たちにとって、今回の交流会は、佛教大学での学生生活をより身近に感じる貴重な機会となりました。多くの学生・教職員の参加により、交流会は盛会のうちに終了しました。



大接戦の末、4対5で惜敗し、リーグ連覇の夢はあと一步のところまで途切れました。それでも、最後まで諦



公式ホームページはこちら
佛教大学硬式野球部
<http://baseballclub.bukkyo-u.ac.jp/>

硬式野球部 10 春季リーグ戦2位——リーグ6連覇へ、あと一步届かず

本学の強化指定スポーツ団体として京滋大学野球連盟一部に所属する硬式野球部が、2026年度春季リーグ戦を2位で終えました。

チームは昨年までリーグ戦5連覇、4季連続全国大会出場を果たし、特に、昨秋はリーグ戦を完全優勝して乗り込んだ関西代表決定戦でも優勝し、関西第一代表として明治神宮野球大会ベスト8という成績を収めました。勢いそのままに挑んだ



今季は、明治国際医療大学・大谷大学・京都先端科学大学・びわこ成蹊スポーツ大学から勝ち点を獲得し、8勝3敗・勝ち点4と安定した戦いを見せましたが、リーグ優勝には届きませんでした。立ちがかったのは、全勝で頂点に立った花園大学。最終節・5月20日の一戦は延長11回タイブレークにもつれ込む

掘土重來を期し、「愛される野球部」をモットーに、秋季リーグ戦での優勝と明治神宮野球大会優勝を目指して精進してまいります。変わらぬご声援をよろしく願います。

外国人観光客への道案内ボランティアを実施 8 円山公園で広がった、学生たちの“おもてなし”の輪

春の京都が多くの観光客でにぎわう4月5日、社会連携センター学生ボランティア室の学生スタッフを中心とした学生13名が、円山公園で外国人観光客への道案内ボランティアを行いました。

この活動は、学生スタッフたちの「外国人観光客の方に道を尋ねられたとき、もっと自信を持って案内できるようにしたい」という思いから生まれたものです。当日は、「あっちこっちプロジェクト」代表の真鍋量さんにご協力いただきました。事前勉強会で学んだ声のかけ方やコミュニケーションの工夫を生かしながら、実際に観光客の方々との交流に挑戦しました。円山公園には、国内外から多くの



人が訪れ、あたたかな春の雰囲気

土産の話など、何気ない会話をきっかけに交流が広がり、道順の案内やおすすめの観光スポットを紹介する場面も見られました。

最後には、学生たちが事前に用意した折り紙をプレゼントとして渡したことで、受け取った観光客の方々にも笑顔が広がり、言葉や文化を越えて心が通い合う時間となりました。学生ボランティア室では、これからも学生一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、さまざまなボランティア活動を紹介・サポートしていきます。



日々の学びが実を結び、 9 医療系国家資格すべてで合格率100%を達成

2025年度、本学保健医療技術学部卒業生が受験した医療系国家資格試験において、理学療法士・作業療法士・看護師・保健師のすべてで合格率100%を達成しました。理学療法学科36名、作業療法学科34名、看護学科61名がそれぞれの国家試験に挑み、全員が合格。さらに、看護師国家試験では4年連続、保健師国家試験では8年連続となる合格率100%の快挙となりました。

この結果は、学生一人ひとりが日々の授業や実習に真摯に向き合い、仲間と支え合いながら努力を積み重ねてきた成果です。また、実践力を育む本学の教育と、教職員によるきめ細かなサポートが、学生たちの確かな力につながったものといえます。

■ 2025年度 新卒受験者合格実績

理学療法士(第61回)		作業療法士(第61回)	
受験者 36名	合格率 100.0%	受験者 34名	合格率 100.0%
合格者 32名		合格者 34名	
看護師(第115回)		保健師(第112回)	
受験者 61名	合格率 100.0%	受験者 15名	合格率 100.0%
合格者 61名		合格者 15名	

卒業生たちはこれから、理学療法士、作業療法士、看護師、保健師として、それぞれの現場へと歩み出します。本学で培った知識と技術、そして人に寄り添う心を大切にしながら、地域や社会の医療・福祉を支える存在として活躍してくれることを期待しています。

人々のところに寄り添う専門職へ 11 第9回公認心理師試験で合格率100%を達成

令和8年 合格実績

第9回公認心理師試験	
受験者 10名	合格率 100.0%
合格者 10名	

国家資格である公認心理師の資格取得に向けて実施された「第9回公認心理師試験」において、本学大学院教育学研究科臨床心理学専攻の受験者10名全員が合格し、合格率100%を達成しました。

今回受験したのは、令和8年3月に修士課程を修了した10名です。通学課程9名、通信教育課程1名が、受験区分Aで試験に臨み、全員が合格するという大きな成果を収めました。受験区分Aは、所定の科目を学部および大学院で修得した人が受験できる区分です。同試験における受験区分A全体の合格率は67.7%であり、その中の合格率100%は、本学大学院生一人ひとりが日々の学修や実習に真摯に取り組んできた成果といえます。

臨床心理学の学びでは、専門的な知識や技術はもちろん、人のところに向き合う姿勢が大切にされます。学生たちは大学院での学びを通して、心理支援の現場で求められる実践力と、人に寄り添うまなざしを育んできました。合格した10名は今後、公認心理師として、それぞれの現場で人々のところ

ローマ人の心
— 古代帝国の実像に迫る —



著／南川高志(歴史学部 特別任用教員)
講談社
2026年2月
定価(税込)2,420円

柳田国男と大正期の神道



著／渡勇輝(歴史学部 講師)
法蔵館
2025年12月
定価(税込)3,850円

丸山薫と錯倒(ハドックス)する近代(モダン)
— 流動する物語 —



著／権田浩美(文学部 特別任用教員)
翰林書房
2026年3月
定価(税込)4,950円

BOOK Information 本

著者
出版社
出版日
価格

本学の教員による
刊行物をご紹介します。

福祉のまなざしから心理支援を考える
福祉心理学



編著／谷本拓郎(教育学部 准教授)、
分担執筆／免田賢(教育学部 教授)
教育情報出版
2026年2月
定価(税込)2,640円

教育的評価の設計



監修・訳／田中耕治(教育学部 客員教授)
日本標準
2026年6月
定価(税込)7,920円

信濃巫女―諸国巡業する口寄せ巫女たち



著／中野洋平(歴史学部 准教授)
昭和堂
2026年5月
定価(税込)6,820円

こころの危機へのユング心理学的アプローチ
スピリチュアルエマージェンシー再考



著／鈴木康広(教育学部 教授)
遠見書房
2026年6月
定価(税込)2,640円

精神医療の特異な論理
— なぜ国家賠償請求訴訟か? —



編著／塩満卓(社会福祉学部 教授)
批評社
2025年12月
定価(税込)3,300円

記憶と世代：記憶のダイバーシティから考える
世代理論におけるインターセクショナルな
政治性の地平



著／崔銀姬(社会学部 教授)
松籟社
2026年4月
定価(税込)4,400円

近代仏教釋少雑誌コレクション



監修・解題／大谷栄一(社会学部 教授)
丸善雄松堂
2025年11月
定価(税込)990,000円

こころからた関係性から見る女性の心層
— 内なる一私に出会う —



著／中道泰子(教育学部 准教授)
創元社
2026年4月
定価(税込)2,640円

図解でわかる 高齢者の病気と症状



著／清水奈穂美(看護学部 准教授)
中央法規出版
2026年4月
定価(税込)2,420円

臨床運動学テキスト



分担執筆／谷田惣亮(保健医療技術
学部 准教授)
南江堂
2026年5月
定価(税込)5,610円

共生の哲学：誰ひとり取り残さない
ケアコミュニティをめざして



編著／朴光駿、武内一(社会福祉学部
教授)ほか
明石書店
2023年10月
定価(税込)3,080円

教育学部

内山 淳子 (特別任用教員) 教授
生涯教育・社会教育

中野 洋平 准教授
歴史文化学科
民俗学

杉本 弘幸 (特別任用教員) 准教授
日本近現代史・地域
研究

歴史学部

小山 哲 (特別任用教員) 教授
歴史学、ヨーロッパ
史、ポーランド史

仏教学部

吹田 隆徳 (特別任用教員) 講師
仏教学

NEW FACE 教員・職員
新規採用者紹介
教員は学科と専門を、
職員は所属を表記

※特別任用教員は
学科表記なし

社会福祉学部

岡部 茜 准教授
社会福祉学科
若者支援

大橋 松貴 講師
公共政策学科
経営学

阿部 慶徳 講師
公共政策学科
政治学、行政学、地方
自治論

社会学部

村上 真理子 (特別任用教員) 准教授
幼児教育・保育学

杉山 宗尚 (特別任用教員) 准教授
社会的養護、子ども
家庭福祉

松尾 貴司 講師
幼児教育学科
子どもの保健・神経
科学

看護学部

白柿 綾 准教授
看護学科
精神看護学

戸田 千枝 教授
看護学科
母性看護学・助産学

加茂 永梨佳 助教
作業療法学科
地域作業療法(高齢
期、認知症)

保健医療技術学部

萬屋 京典 准教授
作業療法学科
老年期障害作業療
法学

金本 隆司 教授
理学療法学科
整形外科学・リハビ
リテーション医学

竹森 美穂 准教授
社会福祉学科
社会福祉学

教職支援センター

福井 善行 実習指導講師
教育学

藤井 ニカン 契約講師
英語教育、教育学

孫 潔 契約講師
文化人類学・中国語
教育

国際交流センター

吉原 文子 助教
看護学科
基礎看護学

山岸 若菜 助教
看護学科
精神看護

後藤 小夜子 講師
看護学科
看護学(基礎)

職員

宇恵 美咲
進路支援部
進路就職課

井上 陸大
生涯学習部
通信学習課

朝倉 早紀
学生支援部
学生支援課

松本 清香
附属こども園
保育教諭

岩倉 瑞希 保育教諭
附属こども園

野村 理人(センター講師)
臨床心理学(思春期・
青年期支援、学生支
援・合理的配慮)

2026年度 新学部長
齋藤 義光 教授
文学部
有田 和臣 教授
歴史学部
斎藤 利彦 教授
保健医療技術学部
小池 伸一 教授
看護学部
榎下 八重 教授

松本 里枝子
教育推進部
学務課

榎橋 もみじ
研究推進部
社会連携課

杉本 清香
財務部
財務課

佐藤 匠人
学長室入学・広報課

木曾 新菜
総務部
こども園事務課

2025年度 定年退職教員

歴史学部
八木 透(歴史文化学科)

社会福祉学部
真砂 照美(社会福祉学科)

保健医療技術学部
坪山 直生(理学療法学科)



入試に関するお知らせ

■ オープンキャンパス

[日程]8月1日(土)、8月2日(日)、9月27日(日)、12月20日(日)※ [場所] 紫野キャンパス・二条キャンパス (同時開催)

※ミニオープンキャンパスです。

■ 学校推薦型選抜(公募制)

試験日	試験会場
11月24日(火)・25日(水)・26日(木)	京都(本学)・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪(梅田)・大阪(難波)・神戸・岡山・高松 ※11月26日は京都(本学)・米原・大阪(梅田)のみです。

*一般選抜(A日程、B日程、C日程)の試験日等は、次号(№32)でお知らせします。

*各入試の出願期間、試験科目等詳細は本学ホームページ 佛教大学入試情報サイトをご覧ください。



お問い合わせ先：入学・広報課

通信教育課程に関するお知らせ

■ 2026年度後期(10月1日入学) 入学志願受付【WEB出願】

●学部(本科)／課程本科／本科入学資格コース

2026年8月21日(金)10:00～9月29日(火)17:00

●科目履修コース

2026年8月21日(金)10:00～8月31日(月)23:59

■ 令和8年度免許法認定通信教育 募集締切【WEB出願】

～2026年8月31日(月)23:59まで

※くわしくは本学通信教育課程ホームページにてご確認ください。

▶▶▶ <アドレス>https://tsushin.bukkyo-u.ac.jp



お問い合わせ先：生涯学習部

研究活動

「研究活動報 manako」をご存じですか？



本学ホームページにて「研究活動報 manako」と題して、本学教員の研究活動を発信しています。是非ご覧ください。



オープンラーニングセンター(O.L.C.)

公開講座受講生募集中！半期 12,000 円で約 300 の講座が受講可能！

オープンラーニングセンター(O.L.C.)は、対面とオンラインを融合させた新たな講義スタイルで、幅広いラインナップの講座を半期約300 講座開講しています。また、いずれの受講形態にも1か月間の「見逃し配信」が付き、ライフスタイルに合わせた受講が可能です。O.L.C.で、あなたの「学び」の扉を開きませんか。

※17 ページにホットピックス記事

お問い合わせ先：オープンラーニングセンター



宗教文化ミュージアム

イベントカレンダー(2026年7月～12月)



浄土宗の歴史・思想・美術などをテーマとする展示や、当館が所在する嵯峨野地域の歴史や文化の魅力をひろく紹介しています。民俗芸能などの公演を行うシアターを併設しているのも特徴です。

開館時間 10:00～17:30(※入館は17:00まで)

入館料 無料 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始

お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26

TEL:075(873)3115 museum@bukkyo-u.ac.jp



開館予定や最新情報は、ホームページ(https://www.bukkyo-u.ac.jp/museum/)をご覧ください。

日程	内容
開館情報はHP内「開館スケジュール・イベント」をご覧ください	平常展示 「浄土宗にまつわるエトセトラ」、「嵯峨野学事始」、 「京都府立北嵯峨高等学校生物部 26 年の歩み展」、「シアター公演アーカイブ上映」など
10月下旬～12月上旬	特別展 「仏教と医薬 ― 佛教大学に看護学部ができた件 ―」(仮)
11月下旬以降	シアター上映会 「愛宕山は砥石山 愛宕山砥石を知る人々の証言」(仮)

B-ism

2026
July

B-information

みんなの掲示板

2026年 主な行事予定

佛教大学 公式SNS



公式 Instagram

アカウント名: bukkyouniversity



https://www.instagram.com/bukkyouniversity/



公式 X

アカウント名: @bukkyo_univ



https://x.com/bukkyo_univ



当誌「B-ism」は、佛教大学入学・広報課が発行する広報誌です。
佛教大学の「人」・「教育」・「研究」などを、より多くの方々に知っていただく目的で、佛教大学の魅力を伝えるべくさまざまな企画をお届けしています。
これまでに発行された「B-ism」は本学ホームページからも閲覧できます。

『B-ism』のバックナンバーが見られます



《アドレス》http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/publicity/

トップページ

大学紹介

大学広報



読者アンケートのお願い

B-ismに関するアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。以下の二次元コードよりご応募ください。



※応募締切：2026年9月18日

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

(1)ロゴマークタオルハンカチ(パープル、ベージュ) 各3名



3名

(2)「ぶったん」スクイーズ 3名



(3)佛教大学オリジナル御朱印帳(紫色/ラベンダー色/桃色) 各1名

1名